

# きゅうしゅう

NO.66



写真：新隊員戦闘訓練（陸上自衛隊霧島演習場）  
(提供：陸上自衛隊えびの駐屯地)

## 目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊霧島演習場
2. 自治体紹介：鹿児島県湧水町
3. 業務紹介：企画部 地方調整課
4. インフォメーション：感謝状贈呈ほか



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム

## 1. 部隊紹介

### 陸上自衛隊霧島演習場



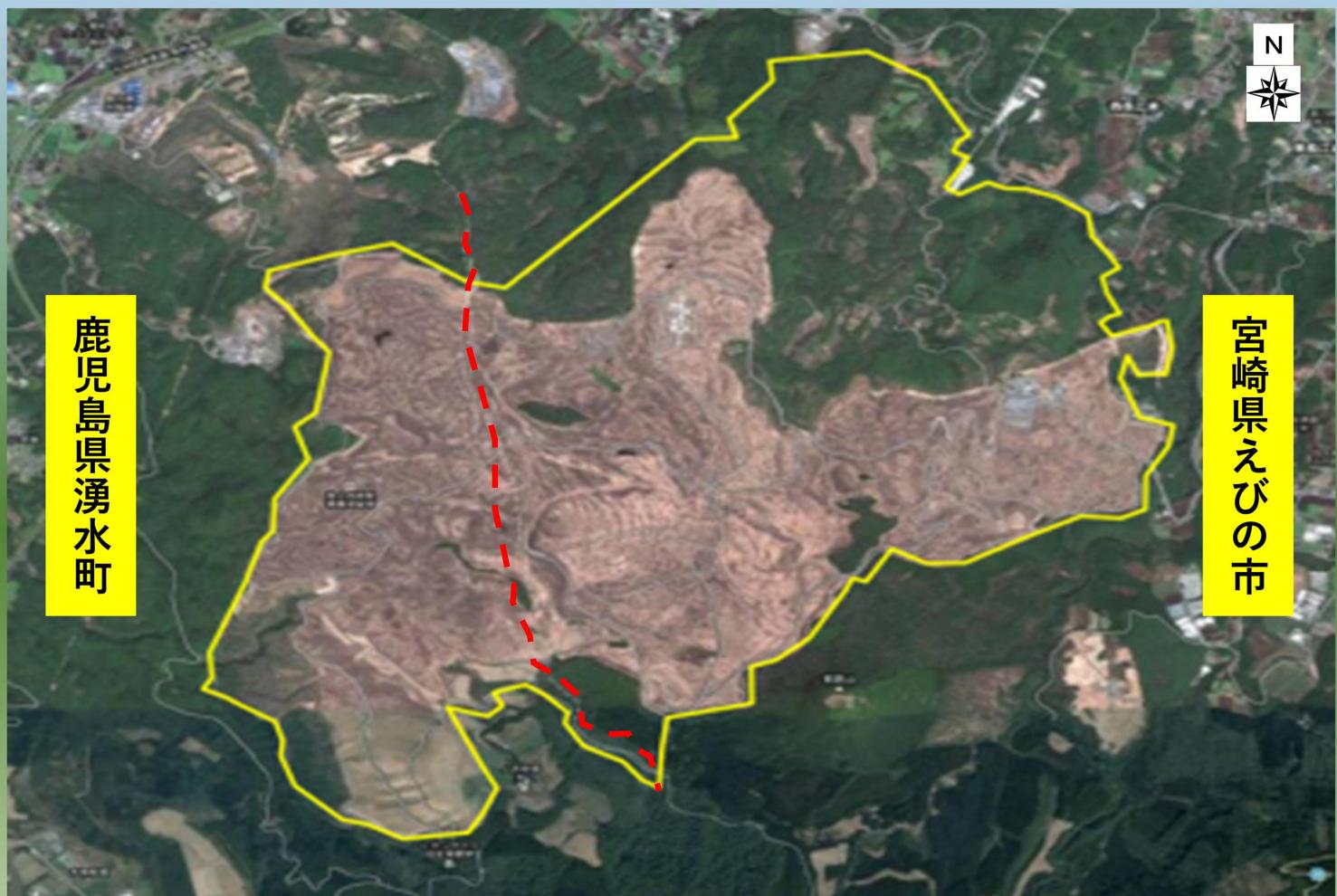
#### 業務隊長挨拶

広報誌「きゅうしゅう」の読者の皆様、こんにちは。  
えびの駐屯地業務隊長の實松と申します。

霧島演習場は、宮崎県えびの市と鹿児島県湧水町に所在し、えびの駐屯地業務隊が、維持・管理を実施しています。

えびの駐屯地から約12Km車で30分と利便性もよく周辺自治体の皆様とも良好な関係を築いております。今後とも長期的な安定使用できるように取り組んでまいります。

第21代えびの駐屯地業務隊長  
2等陸佐 實松一臣  
(さねまつ かずおみ)



霧島演習場は、明治42年陸軍の吉松演習場として開設。当時は、軍馬補充部として開設されました。宮崎県えびの市と鹿児島県湧水町にまたがり、広さは、約1100万m<sup>2</sup>（東京ドーム 237個分）で中規模の演習場です。爆破訓練場、至近距離射場、市街地訓練場及び迫撃砲射場があります。

## 和氣清麻呂公



平安初期  
(733~799)

### 和氣清麻呂の足跡

霧島演習場の湧水町側に位置する西高塚山に洞があります。かつて和氣清麻呂が住んでいたと言い伝えられる洞です。洞入り口の岩石に文字が刻んであるのですが、1000年余りの年月により、今では文字が分からなくなっています。洞の奥には、畳5.6畳分の広がりの空間があると言われています。洞の西北2Kmほどの所には和氣の段という所があり、その昔清麻呂がうさばらしのため、たびたび詩や歌を歌ったところだと言い伝えられ開墾すると昔の銭や道具などが出てくることもあります。清麻呂が一時ここに住んでいたのであろうと伝えられています。（出典：吉松郷土誌）

平成23年湧水町が史跡標示を設置し「和氣清麻呂公居住跡」として登録されています。



## 地域との交流

件名	参加者	実施時期
周辺自治会長等との意見交換会	周辺7自治会長・上床牧場（業務隊長・演習場管理班）	4月10日
尾八重野地区の草刈	尾八重野地区住民（演習場管理班）	8月上旬
尾八重野地区レクレーション参加	尾八重野地区住民（業務隊長、管理科）	11月上旬

件名	参加者	実施時期
有害鳥獣捕獲獵調整会議	えびの市、湧水町、獵友会 (捕獲時期:GW、夏季休暇、年末年始)	6月18日
演習場協定会議	えびの市、湧水町、宮崎県、鹿児島県、防衛局	11月下旬

### 周辺自治会長等との懇親会

### 尾八重野レクレーション参加

### 演習場協定会議



## 2. 自治体紹介（鹿児島県湧水町）

### 湧水町

「人と自然が織りなす芸術のまち  
心豊かで伸びゆく美しいまち」



#### 町長あいさつ



霧島連山の西麓に位置する本町は、町の中央部を九州第二の河川「川内川」が貫流しており、霧島錦江湾国立公園に属する「栗野岳」、日本名水百選「丸池湧水」や豊富な湧水量を誇る「竹中池」、疏水百選「筒羽野の疏水」、つなぐ棚田遺産「幸田の棚田」などの美しい自然に囲まれております。

また、島津義弘公が居城した「松尾城」跡を有するなど薩摩藩島津家に関連した史跡も多く、素晴らしい歴史文化遺産に恵まれた豊かなまちです。

本町の将来像である「人と自然が織りなす芸術のまち 心豊かで伸びゆく美しいまち」に向けて、住民が主役であることを基本として「誰もが元気で暮らせる、人にやさしいまちづくりの推進」を目標に町政を進めております。

#### 基地とのかかわり



【 霧島演習場 】

湧水町には、陸上自衛隊霧島演習場があります。

また、近隣の霧島市には、国分駐屯地、宮崎県えびの市には、えびの駐屯地が位置しており、平素より自衛隊の皆様と接する機会が非常に多いことが、本町の地域特性でもあります。

霧島演習場では、年間を通じて射撃訓練や爆破訓練が実施されており、多様な任務を遂行される隊員の皆様方が、安心して訓練に精励できますように、町としても、住民と自衛隊の皆様との良好な関係の構築、防衛に関する理解の促進に努めています。

## 「お試し住宅」制度

お試し住宅とは、湧水町への移住を検討されている方で、町外に居住されている方を対象に、「湧水町でのくらし」を体験していただき、その後湧水町への移住・定住をしていただくことを目的とした住宅です。

写真は、お試し住宅2号棟(栗野エリア)で、住宅利用料は1,000円／泊（光熱費含む）となっております。

最大13泊14日まで滞在可能です。



## 湧水町のおすすめスポット

### 《魚野フライテエリア》

パラグライダーの離陸場にもなっており、条件が整えばインストラクター同伴のもとフライトを楽しむことができます。また11月～3月の冷え込んだ時期には、雲海を見るることができます。



### 《栗野岳八幡大地獄》

遊歩道が整備されており、九州最大の噴気孔を間近に体感することができます。

西郷隆盛が西南戦争前に訪れ、狩りなどを楽しめたという話があります。



## 湧水町のふるさと納税

湧水町は、豊かな自然を活かした特産品に恵まれています。ふるさと納税の返礼品としても取り扱っておりますので、その一部をご紹介いたします。

### 《鳥刺し（鳥のタタキ）》

ほどよく歯ごたえがあり、身がぷりっとして絶品です。本町で最も人気のある商品です。



### 《鶏の地獄蒸し》

八幡大地獄の蒸氣で丸ごと蒸しているためうまみが凝縮しているうえ、とてもヘルシーで食べやすいです。



### 3. 業務紹介

## 地方調整課

自衛隊や駐留軍等による訓練など自衛隊等の安定的な運用を実現するために、関係する地方公共団体をはじめ、そこで実際に生活をしている地域住民の皆さま方からのご理解・ご協力をいただく事は必要不可欠です。

地方調整課では、自衛隊等と地域住民の皆さま方との間をつなぐ最初の“架け橋”として、基地行政と皆さま方との調和を図るべく、関係地方公共団体等との調整業務を主に行っております。

本号においては、当課業務の一例として、昨年度実施されました陸上自衛隊と在日米海兵隊（第3海兵機動展開部隊等）との共同訓練（アイアン・フィスト24）実施時における地方調整課の業務についてご紹介致します。

#### ～アイアン・フィスト24とは～

陸上自衛隊と日本に駐留する米海兵隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図ることを目的とした訓練。

#### 【演習の内容の一例】

- 日米共同での指揮機関訓練【相浦駐屯地及び沖縄県内の在日米軍施設】
- 着上陸訓練 海上機動（偵察用ボート（C R R C）、水陸両用車（A A V）、ホバークラフト（L C A C）
- 着上陸した部隊による日米共同での陸上戦闘訓練【沖永良部島、キャンプ・ハンセン等】 等々

#### 【演習の実施場所及び期間】

令和6年2月25日（日）～3月17日（日）までの間、長崎県（相浦駐屯地）、熊本県（高遊原分屯地）、鹿児島県（沖永良部島）及び沖縄県（沖縄県内の在日米軍施設 ※沖縄県は沖縄防衛局の管轄）

### ◇◇ 業務概要 ◇◇

- 地方調整課では、日米共同訓練等を実施する際、地元の皆さま方のご理解・ご協力が得られるよう、訓練の実施期間やその内容等について、訓練実施部隊とともに、関係地方公共団体の皆さま方へ説明・情報提供を行っております。
- また、訓練期間中においては、関係地方公共団体の皆さまとの綿密な連携や速やかな情報提供に資するべく、当局管轄内の各訓練実施場所に九州防衛局現地連絡所を開設し、当局の職員を配置しております。
- 現地連絡所においては、直接現地の訓練実施部隊から、部隊の展開・撤収の状況及び訓練の実施状況などの訓練情報をリアルタイムで収集し、その内容を、適宜、関係地方公共団体の皆さまへ情報提供等しております。
- 訓練終了後においては、訓練時における課題等があれば、関係自治体の皆さまからのご意見などを取り纏め、各関係機関へ情報共有し、調整を図るなどしております。
- このような業務を実施することで、日米共同訓練などの訓練の実施について、より一層、地元の皆さま方のご理解が得られるように取り組んでおります。



関係者説明会にて



現地連絡所にて



現地での米軍調整

今回ご紹介したアイアン・フィスト24以外にも、九州防衛局管内では、1年を通して多くの共同訓練等が実施されております。

#### 【令和5年度実施 共同訓練 一例】

- ・オリエント・シールド23 (陸上自衛隊と米陸軍による実働訓練 (奄美駐屯地等))
- ・レゾリュート・ドラゴン23 (陸上自衛隊及び米海兵隊による実働訓練 (日出生台演習場等))
- ・米軍再編に係る航空機移転訓練〈A T R〉 (米軍再編に係る嘉手納飛行場から築城基地及び新田原基地への訓練移転)

## 4. インフォメーション

### 感謝状贈呈～九州防衛局入札監視委員会委員～

令和6年3月19日（火）、法律事務所徳賢において、九州防衛局長感謝状贈呈式が行われ、九州防衛局入札監視委員会委員としてご尽力いただいた徳永響氏に対し、白石総務部長から感謝状が贈呈されました。

徳永響氏は、令和2年4月から令和6年3月まで3年9ヶ月の間、委員を務めていただきました。

今回の感謝状は、九州防衛局及び熊本防衛支局が締結した契約について、入札参加資格の設定経緯及び落札者の決定の経緯等の審議を行う入札監視委員会での委員の意見や助言が適正な入札及び契約業務に大きく貢献されたことに対し、深い謝意を表するものであります。



▲徳永響氏(左)と白石総務部長



▲施設外観

### 「奄美大島食肉センター」が完成

鹿児島県奄美市において、農業用施設(食肉加工施設)としての機能を備えた「奄美大島食肉センター」が完成し、令和6年3月1日（金）に開所式が行われ、池田眞人九州防衛局次長が来賓として出席しました。

開所式では、安田壯平奄美市長が式辞の中で「奄美独自の食文化を継承する役割や、旅行者の皆様へ提供する“おもてなしの食材”的供給拠点として大いに期待するところであります。」と述べるとともに関係者に謝意を表しました。

次に、池田九州防衛局次長が、「今般、奄美大島の豊かな食文化の発展に貢献できる施設として、奄美大島食肉センターの整備に係る補助をさせていただいたところ、九州防衛局としても、こうした事業を通じて奄美市の発展に微力ながら貢献できるのは、この上ない喜びです。」との祝辞を述べました。

当該施設は、鉄骨造平屋建てで、解体室や内臓処理室、部分肉加工室などで構成されており、これまでに無かった冷蔵施設を完備し、食品衛生管理の手法であるHACCP(ハサップ)にも対応した施設となっております。

九州防衛局は、本事業に関し、防衛施設周辺民生安定施設整備事業（農業用施設）として、約7億円の補助金（事業費の3分の2）を支援させていただいています。



▲式辞を述べる安田奄美市長



▲祝辞を述べる池田九州防衛局次長

## 「築上町立八津田小学校新校舎」が完成

福岡県築上郡築上町において、「築上町立八津田小学校新校舎」が完成し、令和6年3月21日(木)に落成式が行われ、池田九州防衛局次長が来賓として出席しました。

落成式では、池田九州防衛局次長が「今般、築城基地周辺における対策事業を推進する観点から、築上町立八津田小学校の新校舎建設事業に際しまして、ご協力させて頂いた次第でございます。この築上町立八津田小学校の生徒の皆様方が一層勉学に励み、明るく健やかに成長されることを念じてやみません。」との祝辞を述べました。

当該施設は、鉄筋コンクリート造2階建てで、内装には、木材を多く用いるなど、環境面に配慮した校舎となっており、校舎全館のWI-FIの整備はもとより、「地域と共にある学校づくり」の一環として、多目的室・和室等地域開放を目的とした施設となっております。

九州防衛局は、本事業に関し、総事業費約15億4千万円のうち防衛施設周辺防音事業（併行防音工事）として、約1億2千万円の補助金及び再編関連訓練移転等交付金として、約1億7千万円の交付金を支援させていただいている。



▲施設外観



▲木材を多く用いた内装



▲式辞を述べる新川築上町長

## 「みやこ町立豊津小学校新校舎」が完成

福岡県京都郡みやこ町において、「みやこ町立豊津小学校新校舎」が完成し、令和6年4月6日(土)に式典が行われ、江原九州防衛局長が来賓として出席しました。

式典では、内田みやこ町長が式辞の中で「この新しい学び舎で、267人の児童が新しい仲間と一緒に学びます。児童の皆さんのが明るい未来へ向かって大きく羽ばたけるよう、教育環境の整備ができたのではないかと考えております。」と述べるとともに関係者に謝意を表しました。

次に、江原九州防衛局長が「今般、築城基地周辺における対策事業を推進する観点から、みやこ町立豊津小学校の新校舎建設事業に際しまして、騒音防止対策事業の一環としてご協力させて頂いた次第でございます。このみやこ町立豊津小学校の生徒の皆様方が一層勉学に励み、明るく健やかに成長されることを念じてやみません。」との祝辞を述べました。

式典では卒業生でシンガー・ソングライターの永井龍雲さんが作詞・作曲した新しい校歌が永井さんと6年生の皆さんとの合唱で披露され、新しい門出をお祝いしました。

当該施設は、校舎の中心に全学年の交流の場として階段状の明るく開放的な空間を設け、各階にもオープンスペースやベンチを設置し教室外でもコミュニケーションを取りやすい空間づくりとなっており、ギガスクール構想に対応した最新のICT機器を整備し学校施設内のどこからでもインターネットにアクセスでき、様々な学校活動が行える施設となっております。

九州防衛局は、豊津小学校新校舎建設事業に関し、防衛施設周辺防音事業として、約6億1千万円の補助金を支援させていただいている。



▲施設外観



▲式辞を述べる内田みやこ町長



▲祝辞を述べる江原九州防衛局長

## 日米交流演奏会2024 ～Hand in Hand with Harmony～ 開催



令和6年3月24日（日）、アルカスSASEBOにおいて、九州防衛局主催による「日米交流演奏会2024～Hand in Hand with Harmony～」が開催され、佐世保市・西海市民や基地周辺の方々など約1,100名が来場されました。

今年度は、日本側から九州文化学園高等学校、聖和女子学院中学校・高等学校及び佐世保市及び西海市内の中学生有志で結成された「佐世保・西海ジュニアオールスターーズ」、米側から米海軍佐世保基地内に所在するE. J. キングミドル／ハイスクールと米海軍第7艦隊音楽隊が参加しました。



九州文化学園高等学校によるマーチング演奏



聖和女子学院中学校・高等学校と  
E. J. キングミドル／ハイスクールによる合唱



佐世保・西海ジュニアオールスターーズと  
E. J. キングミドル／ハイスクールによる合同演奏



米海軍第7艦隊音楽隊によるゲスト公演

九州防衛局では、今回の演奏会をきっかけとして新たな交流が生まれていくことを願うとともに、今後多くの方々にお楽しみいただけるような日米交流事業を実施できるように取り組んでまいります。

## 「エアーメモリアルinかのや2024」にて広報活動

4月28日（日）、海上自衛隊鹿屋航空基地（鹿児島県鹿屋市）においてエアーメモリアルinかのや2024（エアメモ）が開催されました。10年ぶりにブルーインパルスがやってくることもあって、鹿屋航空基地には、たくさんの航空機ファンや家族連れが訪れました（主催者発表：約4.2万人）。

エアメモでは、海自ホワイトアローズや空自ブルーインパルスのアクロバット飛行の展示や、地上装備の展示などが企画される中、九州防衛局はブースを設置して広報活動を行いました。

九州防衛局は、今後とも防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々にご理解頂けるよう分かりやすい広報に努めてまいります。

自衛隊の各種イベントにて皆様のお立ち寄りをお待ちしています!!



▲九州防衛局ブースの様子

## 令和6年度 九州防衛局初任研修の実施

5月15日から17日の3日間、令和6年度九州防衛局初任研修が44名の新人職員（令和6年度新規採用者、令和5年度中途採用者及び経験者採用者）に対し実施されました。

この初任研修は、国民全体の奉仕者としての国家公務員の使命と心構えを自覚させるとともに、職務遂行上必要な基礎的知識を付与させ、同期の繋がりを強くすることを目的としています。

研修は、座学研修及び佐世保地区現地研修を行いました。

座学研修では、ハラスマント関係、行政文書、情報公開、個人情報、各部の業務など、当局の職員が講師となって講義を行い、臨床心理士による対人関係構築ワークと題して、コミュニケーション能力を高めるための講義を実施するなど、国家公務員としての基礎的知識の習得に努めるとともに、意欲も高めることができました。

佐世保地区現地研修では、佐世保防衛事務所の概況説明、在日米海軍佐世保基地の見学（司令部庁舎外観、ジュリエットベイスン岸壁など）、相浦駐屯地の概況説明及び見学を行い、普段の業務では経験ができないことを多く学ぶことができ、非常に有意義な現地研修となりました。

新人職員44名は、研修後、国家公務員としての使命感及び自覚を持ち、同期の絆を大切にし、日々の業務に励んでおります。



▲座学研修



▲佐世保地区現地研修

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。